

JAPAN CLAMP

新型登場

異形棒鋼つり専用クランプ

DHK-DSV 型

ダブルストッパー式
遠隔操作可能
D19-41まで対応

鉄筋が外れにくい
ダブルクロッシングゲート



鉄筋を逃がさない幅広のカム



日本クランプ株式会社

特長

幅広のカムで鉄筋を逃がさない構造

ダブルクロッシングゲート機構により鉄筋がクランプ内部で斜めに動かない構造

取扱い方法と使用上の注意

取り付け

鉄筋呼び径D19-22とD25-32の場合は、アジャスターを各々の呼び径サイズの刻印面がつり環側になるように取り付けてください。

必ず、アジャスターの突き出し部分と本体側の切れ込み部分をしっかりと合わせてセットスクリューで固定してください。

呼び径D35-D41の場合はアジャスターを外して使用してください。

立て起し作業に使用する場合は、クランプの取り付け方向を荷重方向と同一になるように取り付けてください。

つり上げ、移動

つり上げ前に必ずクランプが正しい向きにセットされていることを確認してください。

クランプに荷重が掛かった時点で回転してしまった場合は必ず一旦クレーンを停止してクランプの取り付け状態を確認してください。

地切りの前には一旦クレーンを停止してからクランプの状態と周囲の安全確認をしてください。

クランプ同士が干渉することないようにしてください。

操作のワイヤーが周囲のものに絡まないようにしてください。

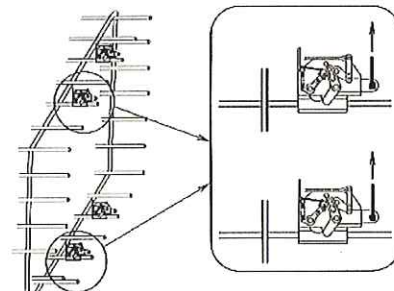
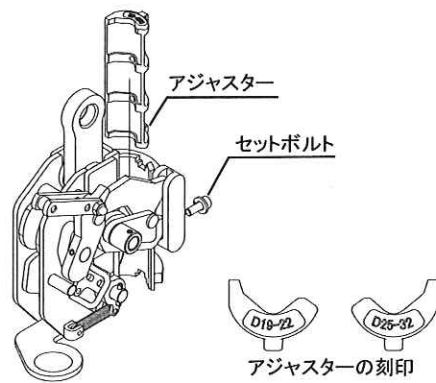
取り外し

つり荷が安定した状態であること、スリングに荷重が掛かっておらず十分に緩んでいることを確認してください。

ダブルストッパー解除用ロープを軽く引きながらロック解除用のロープをしっかりと引いてください。カムが収納され取り外し可能になります。

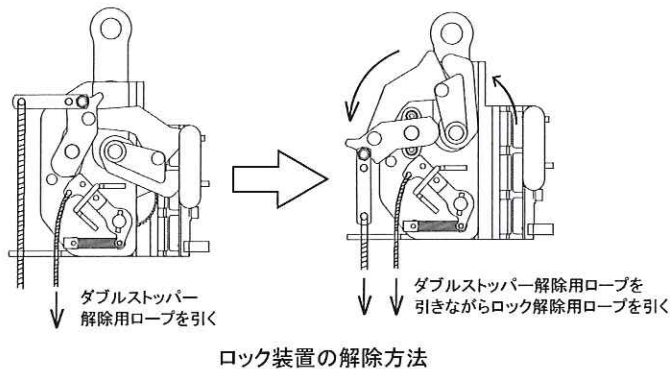
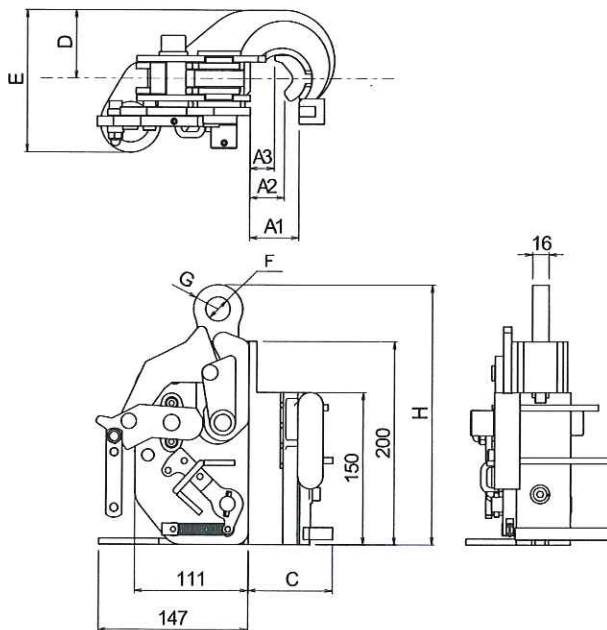
クランプをつり荷から外します。

解除操作をする際にクランプ本体に荷重が掛かっている状態では解除操作ができないようになっています。ダブルストッパー解除用ロープだけを強く引っ張ったり、クレーン操作での着地時の衝撃が大きくとクランプ本体が下に滑ってスリングが張った状態になることがあります。その場合はスリングを緩めてから解除操作を行ってください。



縦起し時のクランプのセット方向

主寸法



ロック装置の解除方法

D19-D32はアジャスターを使用してください

型式	基本使用荷重 (ton)	適用鉄筋呼び径			主寸法(mm)						自重 (kg)
		D19-D22	D25-D32	D35-D41	C	D	E	F	G	H	
DHK-DSV-1-41	1	A3	A2	A1	84	68	150	φ20	20	280	9.4
		25	37	50							
DHK-DSV-1.5-41	1.5	25	37	50	84	68	157	φ20	20	280	10
DHK-DSV-2-41	2	25	37	50	99	83	172	φ22	24	280	11.4



日本クランプ株式会社

URL <http://www.jclamp.co.jp>

東京本社 〒143-0002 東京都大田区城南島4-5-7
 東北支店 〒983-0831 仙台市宮城野区自由ヶ丘28-21
 大阪支店 〒553-0007 大阪市福島区大開3-4-28
 札幌営業所 〒003-0027 札幌市白石区本通3丁目北6-12-108
 新潟営業所 〒950-1217 新潟市南区白根2290-11
 名古屋営業所 〒486-0926 愛知県春日井市小野町4-6-8
 福岡営業所 〒811-2204 福岡県糟屋郡志免町大字田富75-1
 製造工場 〒851-2102 長崎県西彼杵郡時津町浜田郷610-1

Tel.(03) 3790-6881 Fax(03) 3790-6885
 Tel.(022) 388-3191 Fax(022) 388-3190
 Tel.(06) 6462-5330 Fax(06) 6462-5351
 Tel.(011) 867-2610 Fax(011) 867-2611
 Tel.(025) 373-0611 Fax(025) 373-0610
 Tel.(0568) 87-7222 Fax(0568) 87-7226
 Tel.(092) 935-8567 Fax(092) 935-8489